

第2章 活力あふれる豊かなまち

- | | |
|-------|-------------------------|
| 施策目標1 | 時代とニーズに対応した観光の推進 |
| 施策目標2 | 雇用の確保・創造と労働環境の充実 |
| 施策目標3 | 農地集約化と特色ある農業への転換 |
| 施策目標4 | 地域の特性を生かした林業・
水産業の振興 |
| 施策目標5 | 活力ある工業の育成 |
| 施策目標6 | にぎわいと個性あふれる商業の展開 |
| 施策目標7 | 競争力のある中小企業の育成 |

進捗状況

A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

施策目標1 時代とニーズに対応した観光の推進

本市には、魅力ある観光資源が数多く存在します。これらの資源が持つ魅力が十分に発揮されるよう有効に活用するとともに、見逃している地域資源を再発見し、市内観光地を周遊していただけるような受け入れ体制の整備を推進します。また、学習旅行の誘致や外国人観光客の受け入れ体制の整備のほか、周辺市町村と連携した広域観光による誘客の促進に取り組むとともに、もてなしの心を持った人づくりを進め、多くの観光客に来てよかったと言ってもらえる魅力ある観光地づくりを推進します。

【魅力ある観光地づくりの推進】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
地域資源を生かした受 入体制の整備と情報発 信	<ul style="list-style-type: none"> ○温泉、湖、森林などを生かし健康と環境をテーマとした誘客の推進 ◆湖、川、国営公園などを活用したアウトドア体験の推進 ◆街なかや地域観光資源の魅力の再発見と再活用による周遊観光の推進 ○学習旅行の誘致推進 ○ホームページ、マスメディア、観光大使等を活用した観光情報の充実と発信 ○観光キャンペーン等、有効な誘客宣伝の推進 ○農業・商業と連携した観光イベントの開催と支援 ◆産業観光の推進 	観 光 課	<p>近年、エコツーリズム・グリーンツーリズムなどの観光が注目を集めており、特に、トレッキングやキャンプ、ウォータースポーツなどの体験・参加型観光を目的の観光客が増加している中、北アルプス国際芸術祭をフックとした、観光誘客策に取り組む必要がある。</p> <p>学習旅行については、グリーンツーリズム等、継続的に誘致を働き掛けていくとともに、新たなプログラムを提供し誘致することが必要である。</p> <p>また、観光大使も、それぞれの特性を活かしたイベント事業等に活用を図っていく。</p> <p>観光消費額に直結するための観光戦略を立て、関係機関や他産業と連携して実施していく必要がある。</p>	B (H28:B)
観光施設等の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○山岳など景観に優れたビューポイントの整備 ◆観光業者とタイアップした湖・トレッキングなどの散策道の整備 ○魅力ある温泉地の形成 	観 光 課	<p>温泉郷の景観整備、公衆トイレ整備、登山道の改修等について、毎年計画的に取り組んでいる。H27年度からは、登山道改修補助金の支出方法を見直</p>	B (H28:B)

	○観光施設の整備と健全かつ適正な管理運営		し、山域の登山道を毎年全路線を対象とした。 また、白馬村・小谷村と連携して、「山岳高原を活かした世界水準の滞在型観光地づくり」に向けた取り組みを行う。	
	○分かりやすい案内看板の充実	観 光 課	観光案内看板については、記載する内容や周辺と調和するデザイン等に配慮するとともに、多言語化を図り外国人観光客に考慮する。また東山周辺地域のサインについては、整備計画に基づき設置を図った。	B (H28:B)
		八 坂 支 所	明日香荘等の案内看板を指定管理者と協議し設置した。	A (H28:B)
		美 麻 支 所	統一表記による目的地の明確化、スムーズな誘導を考慮した看板設置を進める。	B (H28:B)

【広域観光による誘客の推進】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
広域観光ルートの実	◆新たな観光資源の開発や周辺市町村との連携による観光コース等の設定及び推進	観 光 課	広域観光の充実を図るために、近隣市町村と連携した2次交通の整備や北陸新幹線金沢延伸による商品拡充に向けて推進を図った。	B (H28:B)
広域観光推進団体との連携強化	○北アルプス観光協会、北アルプス三市村観光連絡会との連携強化 ◆大系線ゆう浪漫委員会との連携及び継続 ○日本アルプス観光連盟との連携 ◆Japan Alps 広域都市観光連携会議、立山黒部アルペンルート広域観光圏協議会との連携による誘客強化		各自治体や観光諸団体と連携し、広域にわたる宣伝誘客活動を展開しているが、構成団体が似通ったり複雑化していることから、団体の再編等調整をすることが必要。	B (H28:B)

【人づくり・組織づくりの推進】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
市民参加の観光まちづくり	○市民ガイド等人材育成の推進と活動拡大 ○観光客の受け入れ体制の向上とモチベーションの醸成	観 光 課	信濃大町達人検定の実施や観光ボランティア登録などを行っているが参加者が少ない。達人検定のリニューアルや国際芸術祭を契機として、市民の関心を引くような取り組みとなるよう、検討を進めた。	C (H28:C)
団体支援と組織強化	○観光協会等、関係団体への支援と組織強化		市観光協会では、現在法人化のあり方についての検討を行っているが、具体的な進展が見られない。協会の在り方や事務事業精査も含め更に検討を図る。	C (H28:C)

【国際化、多様化に対応する観光】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
インバウンド事業の推進	○周辺市町村や関係機関等と連携した外国人観光客の誘客 ◆周辺市町村と連携した外国人観光客向けの着地型旅行商品等の開発と受け入れ体制の充実	観 光 課	外国人観光客誘致のための商談会等に積極的に参加しており、台湾や韓国、タイ等のアジア圏の観光客は増加傾向にある。 さらなる誘客を図るため、台湾を対象とした秋冬のプロモーション事業や、冬期に白馬に訪れている外国人観光客の取り込み策として、シャトルバス運行やカルチャープログラム事業を行ったが、シャトルバス事業については検証し見直す必要がある。	B (H28:B)
滞在体験型観光の推進	○滞在、体験、交流型観光の推進と連携 ○団塊の世代の動向を見据えた展開	観 光 課	滞在・体験型観光の推進のため観光素材の見直しを行い、北アルプス国際芸術祭をフックに体験メニューや周遊コースの設定などについて、関係機関と	C (H28:C)

			協議し実践する必要がある。	
		八坂支所	さざなみは、自主事業で犀川を活用したラフティング体験により、誘客増に努めた。また、ふるさと体験館と明日香荘は、そば打ち体験など滞在型観光を推進する必要がある。	B (H28:B)
		美麻支所	ふたえ市民農園、おおしお市民農園を開設し、滞在型の農業体験を通じた都市部と農村との交流を推進している。	B (H28:A)

▼数値目標

目標項目	基準値	目標値	担当課	H28数値	課題等
観光客の年間消費額	135億円	140億円	観光課	117億円	滞在型観光地の推進
観光ボランティア登録数	29人	40人	観光課	23人	人材育成の取り組み
外国人客宿泊者数	15,599人	17,000人	観光課	34,509人	(H27数値)

□市民意識調査

調査項目	基準値	目標値
観光の振興に満足していると思う市民の割合	49.1%	70.0%

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名(予算書)	担当課
—	121119	明日香荘管理運営費	八坂支所
—	17138	八坂観光施設管理費	
—	16152	ふたえ市民農園	美麻支所
—	16153	おおしお市民農園	
アミューズメントハウス施設修繕事業	17133	観光施設管理事業	観光課
アミューズメントハウス管理事業			
温泉郷観光環境整備事業			
八坂観光施設管理費	17138	八坂観光施設管理費	八坂支所

観光イベント事業	17141	宣伝誘客イベント事業	観光課
大町市観光協会負担金事業			
夏・冬誘客イベント事業			
観光地二次交通運行事業	17142	観光振興事業	
観光プロモーション事業			
山岳観光振興事業			
観光マーケティング調査事業			
恋人の聖地を活用した「信濃大町恋華めぐり」事業			
インバウンド推進事業			
東山周辺地域観光整備			
高瀬渓谷振興事業			
—	121127	ぽかぽかランド美麻管理運営費	美麻支所

施策目標2 雇用の確保・創造と労働環境の充実

長引く経済情勢の低迷により、労働者の雇用を取り巻く環境は大変厳しい状況となっています。関係機関との連携や求人開拓員の企業訪問により企業が求める人材を把握し、多様化する就労ニーズに対応した知識や技術習得を支援するとともに、雇用の場の確保に努めます。

また、いきいきと働ける環境を創るため、企業との連携を通じて働きやすい環境づくりや勤労者福祉の充実に取り組みます。

【雇用の安定的確保の促進】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
雇用の場の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ハローワーク大町、大北職業安定協会との連携による雇用の場の確保促進 ◆求人開拓推進員による企業訪問での求人掘り起こし等による支援 	商工労政課	これまでの求人開拓推進員の企業訪問により、企業からハローワークへの求人は、意識されるようになり、一定の成果が得られた。今後もハローワーク等との連携により雇用の場の確保に努める。	B (H28:B)

【人材の確保】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
Ｉ・Ｕターン事業の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○Ｉ・Ｕターン者への情報提供の窓口一本化と専門技術者等の確保促進 ◆ホームページ・企業情報誌の充実と管内企業のPR 	商工労政課	まちづくり交流課定住促進係でＩ・Ｕターン者への情報提供等を一本化し、雇用面は連携して情報提供をしている。企業情報誌の発行は、大町職業安定協会と連携し、行っている。	B (H28:B)
新卒者への就職支援	<ul style="list-style-type: none"> ○大町職業安定協会への支援 ◆新卒者への企業紹介等の就職支援 ◆管内高校・ハローワーク大町・求人開拓推進員の連携による就職活動支援の推進 		ハローワーク、大町職業安定協会、大北5市町村が連携し、大北地域の事業所の参加により企業説明会を開催し、新卒者、ＩＵターン者、高校生等へ大北管内の就職支援を行った。今後も継続予定。	A (H28:A)
職業能力開発	<ul style="list-style-type: none"> ○大北高等職業訓練校の運営支援 ◆時代に即応した職業訓練の充実 ◆地域高校などのキャリア教育への協力 		大北高等職業訓練校で職業訓練の機会の提供、大町職業安定協会でのキャリア教育への支援を行っている。	B (H28:B)

【労働環境の充実】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
労働者の福利厚生への向上	<ul style="list-style-type: none"> ○勤労者互助会への支援 ○労働会館の活用促進 ○社会保険・年金・労働相談の実施 	商工労政課	大北勤労者互助会への支援により地域の小規模事業者の従業員と経営者の福利厚生の充実に努めている。 勤労者の福祉、生活向上等の相談や、労働組織の会合等、労働会館を活用している。 社会保険労務士による年金・労働相談日を毎月設けている。利用者は減少傾向にある。	A (H28:A)
勤労者の生活安定支援	○勤労者資金融資による勤労者の生活安定の向上		長野県労働金庫と連携して勤労者生活資金融資による勤労者の生活安定を進めている。	A (H28:A)
働きやすい環境づくり	○次世代育成支援対策行動計画や男女共同参画推進条例等の事業所への周知と実現推進		ポスター、チラシ等により計画等の事業所への周知に努めている。	B (H28:B)

▼数値目標

目 標 項 目	基準値	目標値	担当課	H28数値	課題等
求人開拓員による求人数	505人	560人	商工労政課	0人	これまでの取り組みでは、毎年目標値を上回っており、一定の成果が表れた。 有効求人倍率も安定しており、求人開拓員は、H27年度で終了。 (H27数値：960人) 新たに、中小企業支援アドバイザーを配置し、創業支援に取り組んでいる。

□市民意識調査

調 査 項 目	基準値	目標値
働く場や雇用機会が充実していると思う市民の割合	22.9%	50.0%

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
—	15112	労働諸費一般経費	商工労政課
雇用対策事業	15114	創業支援事業	
勤労者住宅福取得等利子補給事業	15115	勤労者福祉事業	
勤労者資金融資原資預託金			

施策目標3 農地集約化と特色ある農業への転換

農業者の高齢化等による担い手不足や安定した農業経営の維持・確立が課題となっています。そのため、認定農業者や集落営農組織を育成し地域の担い手づくりを進めることにより、農地流動化や農作業受託による農地の集約化を促進し、農業経営の安定化と生産体制の強化を図ります。また、新規就農者や環境保全型農業に取り組む農業者への支援を推進するとともに、鳥獣被害対策や遊休荒廃農地の有効利用等にも積極的に取り組んでいきます。

【担い手づくりの推進】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
認定農業者制度の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○認定農業者の育成 ○農業改善計画の達成に向けた、融資や利子補給などによる支援 	農林水産課	<p>認定農業者の新規・更新の支援を行っている。高齢化により減少傾向となっている。</p> <p>利子補給については継続して実施しているが、助成期間が長期にわたることなど課題となっている。平成26年度新規分から県の助成がなくなったことから市もこれに合わせて廃止した。</p>	<p>B (H28:B)</p>
持続可能な農業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○集落や地域全体での農業経営体の組織化 ○作業受託体制強化の支援 ○農業の企業化への支援 		<p>人・農地プランの作成による持続可能な農業のあり方を検討(地域の中心となる経営体とそれに協力する農業者の明確化)しているが、中心となる農業者が位置付けられていない地域では作成が進んでいない。</p> <p>作業受託体制の支援については、継続して実施している。</p> <p>農業者の法人化への移行希望者には、個別に支援の対応を行っている。</p>	<p>B (H28:B)</p>
後継者の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○将来の農業を担う人材の育成 ○I・Uターン、団塊世代等新規就農者への支援 		<p>就農者支援事業による支援及び国の青年就農給付金(経営開始型)受給のための支援を実施している。新規就農には資金が必要なことから、相当の自己資金が</p>	<p>B (H28:B)</p>

		必要であり、若年層には難しいのが実態となっている。また、定年後のライフスタイルとしての農業も推奨したい。	
--	--	--	--

【生産の振興】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
稲作の生産振興	<ul style="list-style-type: none"> ○生産性・品質の向上によるブランド化 ○優良品種の導入、技術改善対策 	農林水産課	<p>農業生産工程管理の取り組みにより、安全・安心な米づくりの推進を図ってきた。</p> <p>稲作の省力化、低コスト化の取組を進めている。</p>	B (H28:B)
果樹の生産振興	<ul style="list-style-type: none"> ○りんごの中生品種、新わいか栽培の促進 ○果樹生産規模の拡大、低コストの実現、品質の向上 ○ワイン用ぶどうの高品質化の促進 		<p>りんごにおいては、県推奨品種や新わいか等改新植を推進し、JA、県の技術指導によって、生産効率、品質向上に努めた。高齢農家から若手農家への園地移譲の仕組みの構築が課題。</p> <p>ワイン用ぶどうに関しても、水田転作補助と市単独事業の活用によりワイン用ぶどうの改新植を推進し、JA、県の技術指導により、生産効率、品質向上に努めてきた。また、若手農家による6次産業化をすすめ、28年度には販売できるようになってきている。</p>	B (H28:B)
野菜・花卉の生産振興	<ul style="list-style-type: none"> ○消費者ニーズに即した優良品種の導入と生産・販売体制づくりの促進 ○アスパラの生産拡大 ○リンドウ栽培の団地化 		<p>アスパラガス、トマトなど収益を得やすい地域振興作物の導入や当地域独自の品目の導入を進めている。有効な販売先の開拓について、集荷機関にて取り組みを進めている。</p>	B (H28:B)
転作作物の生産振興	<ul style="list-style-type: none"> ○麦、大豆、飼料作物及びそばを主体とした適地適作による転作の促進 		<p>地域農業振興に係わるJAや県など関係機関が一体となり、生産安定技術の導入を図ってきた。品質の高いそば、麦、</p>	B (H28:B)

		大豆、飼料作物等の生産の一層の促進を図る。	
畜産の振興	○牛、豚、鶏の生産農家の連携と飼育環境向上によるブランド化の推進	耕畜連携として、飼料用米の地域における需要の拡大を進めたい。	C (H28:C)

【農地施策の推進】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
農地集約化の推進	○農地流動化の促進 ○農作業の集積推進と農地集約化の支援	農林水産課	農地流動化は進んでいるが、今後は作業効率を上げるための集約化を図らなければならない。 農地中間管理機構を通して、農地の集積を進めている。	B (H28:B)
農地・農業用施設の維持保全	○遊休農地、荒廃農地の利活用の活動支援 ○中山間地域の農地保全活動支援 ○施設の維持保全事業支援		遊休農地については、地域コミュニティ組織などの活動による遊休農地対策事業が実施された。 中山間地域の保全については、国の中山間地域直接支払事業を活用した地域活動が実施された。	B (H28:B)
施設の機能保全	◆施設の長寿命化対策に基づく計画的な施設の更新 ○小水路の効率的な維持補修 ◆ため池の整備	建設課	基幹施設については、県営事業等を導入し計画的に実施している。小水路等については、市の単独事業と多面的機能保全交付金事業を併せて効率的に実施している。ため池については、重要施設を対象に耐震調査業務を行っている。	B (H28:B)

【特色ある農業の展開】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
環境にやさしい農業の推進	◆農地の適切な管理による生活環境の保全 ○環境保全型農業への取り組み支援	農林水産課	有機 JAS 取得への支援を実施した。 環境保全型農業直接支払事業を実施した。	A (H28:A)
地産地消の推進	◆地産地消計画の策定		地産地消計画策定については、市のブランド振興と連携を取り、関係機関と	C (H28:C)

	<ul style="list-style-type: none"> ○地元農産物の学校給食への利活用の促進 ○観光や商業と連携した農産物の振興 	調整を進めたい。 地元食材の学校給食での利用促進のための支援を実施している。 そば処スタンプラリーを開催している。	
高付加価値型農業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○農産物加工施設の設置支援 ○農産物のブランド化による高付加価値化 ◆農業の6次産業化の推進 	28年度にオープンしたワイナリーの今後の支援。 新規就農者より要望の多いワイン特区の申請について、市単独か周辺市町村と連携していくか検討する。	B (H28:B)

【鳥獣対策の推進】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
被害対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○猿、鹿、猪等野生動物の追い払い、侵入防止柵設置・緩衝帯の整備等による対策強化 ○県特定鳥獣保護管理計画等に基づく個体数調整 ○モンキードッグの育成 ◆侵入防止柵設置や追い払い指導のための鳥獣被害対策リーダーの育成 	農林水産課	猟友会による個体数調整、猿追い払い協力員28人による追い払い、モンキードッグを育成し、24頭が活躍した。また、国の交付金、市単独補助事業による侵入防止柵の設置をすすめているが、市内全域で猿、猪の被害が拡大している。	A (H28:A)

▼数値目標

目 標 項 目	基準値	目標値	担当課	H28数値	課題等
認定農業者数	73人	78人	農林水産課	80人	
新規就農者数（5年累計）	4人	9人	農林水産課	8人	
協働による遊休荒廃農地の整備面積	7.9ha	10.0ha	農林水産課	5.2ha	
集落営農組織数	16団体	21団体	農林水産課	17団体	

□市民意識調査

調 査 項 目	基準値	目標値
農林水産業の振興に満足していると思う市民の割合	55.9%	70.0%

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名(予算書)	担当課
—	16122	農業総務一般経費	農林水産課
大町市特産品化事業	16131	農業振興経費	
新規就農者育成事業	16132	農業振興助成費	
農地流動化担い手育成奨励金	16133	農業経営基盤強化推進事業	
中山間地域等直接支払事業	16136	中山間地域等直接支払事業	
多面的機能支払事業	16137	多面的機能支払事業	
農作業受託体制構築事業	16138	農業推進支援センター事業	
農地中間管理機構集積協力金事業	16138	農業推進支援センター事業	
—	161310	園芸振興事業	
有害鳥獣対策事業	161311	有害鳥獣対策事業	
—	161321	線越明許費農業振興助成費	
畜産振興事業	16141	畜産振興事業	
県営農業農村整備事業	16212	農地一般経費	
市単かんがい水路等改修事業			
農業用水路維持改良事業	16213	農業用施設管理事業	
—	162112	野平ため池整備事業	

施策目標4 地域の特性を生かした林業・水産業の振興

健全な森林の維持と、多面的・公益的な機能の保持ため、適切で計画的な森林の育成整備と管理を進める必要があります。間伐や林産物の生産促進など、林業の経営安定や後継者の確保に努めるとともに、間伐材の利用拡大を図るなど新エネルギーとしての利活用を検討します。また、地域住民やボランティア等との協働による里山の整備を推進し、市民が緑とふれあいながら楽しめる里山づくりに取り組みます。

水産業では、外来魚の駆除のほか、水産資源の心化・放流に積極的に取り組み水産物の販路拡大を進めます。

【豊かで多様な森林の育成】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
健全な森林の育成	○健全な森林の育成 ○間伐等適正な森林施業への支援	農林水産課	健全な森林の育成のために必要な間伐事業に対して、国、県の補助金に対し5%の嵩上げ補助を実施している。	D (H28:D)
多様な森林の整備	○単層林、複層林、天然林等の育成促進		森林整備地域活動支援事業において助成を行っている。	D (H28:D)
森林資源の保全	○松くい虫等の森林病害被害の監視強化と伐倒処理 ○個体数調整、忌避剤等による幼齢木の食害防止 ◆ナラ枯れの調査・防御		被害確認木の伐倒くんじょう処理及び空中散布を行い、全量駆除を目指している。また、樹種転換を視野に入れた森林整備について自治会等と協議を進めたほか、予防策としての樹幹注入を行った。	B (H28:B)

【地域林業の活性化と地域材の利用拡大】

具体的な施策	内 容	担当者	取り組みの状況・課題等	進捗状況
担い手の確保・育成	○後継者の確保、指導者の育成 ○林業技術の講習会等、普及活動への支援 ○林業に関心を寄せるI・Uターンの林業就業者への支援	農林水産課	木材価格の長期低迷や人件費増、煩雑な事務処理により、林業が産業として伸び悩む中、後継者不足は大きな課題である。	C (H28:C)
経営基盤の整備	○高性能林業機械の導入促進 ○林道等の施設整備 ○列状間伐による効率的施業の普及		森林整備地域活動支援事業において、作業路網の整備について助成を行っている。	C (H28:C)

地域材の利用拡大	○地域材の公共施設への利活用 ○一般住宅への普及促進 ○地域素材の流通・加工施設の広域的整備の検討		大田市公共建築物及び公共土木事業等の木材の利用促進に関する方針を策定し、関係課に利用促進を図っている。	C (H28:C)
新エネルギーとしての利用拡大	○木質系エネルギーの利用拡大の推進 ○間伐材等地域材の利活用	農林水産課	ペレットストーブ、ボイラーの購入補助に加え薪ストーブについても補助対象とした。	B (H28:C)
林産物の生産促進	○林産物の販路拡大、生産振興、経営の合理化、品質の向上	農林水産課	林床部を活用した陸ワサビは需要があり販路も確保されているが、栽培面積の拡大が進んでいない。	C (H28:D)

【森林・林業とのふれあい】

具体的な施策	内 容	担当者	取り組みの状況・課題等	進捗状況
みどりとふれあい促進	○植樹祭・育樹祭、森林体験を通じた森林やみどりとふれあいの促進	農林水産課	市内小学校のみどりの少年団の全国植樹祭等への参加を支援した。	B (H28:B)
みどり教育の推進	○みどりの少年団の育成と活動支援 ○自然の役割、森林を守り育てる必要性などを学ぶみどりの教育の推進による郷土愛の育成		木のぬくもりプレゼントを継続させるとともに、大量の積木を製作し、公共施設等への貸し出しや、木育教育イベントを開催した。	A (H28:B)

【自然環境を活用した水産業の振興】

具体的な施策	内 容	担当者	取り組みの状況・課題等	進捗状況
特産魚種のふ化・放流	○漁業協同組合への委託によるシナノユキマス、ワカサギ等のふ化・放流 ○水産物の消費及び販路の拡大、釣り客増加促進 ○観光業と連携した特産品の振興	農林水産課	市内3漁業協同組合が行う事業への補を行っている。また、「淡水魚の日」を市漁連と協力して開催し、仁科三湖等の淡水魚のPR、消費拡大を図った。中綱湖へら鮒釣り大会へも補助し、グリーンツーリズムにも寄与している。	B (H28:B)
外来魚の駆除	○漁業協同組合と連携したブラックバス・ブルーギルなどの外来魚の駆除		市内3漁業協同組合による捕獲や、ブラックバス釣り大会への補助を行っている。	B (H28:B)

▼数値目標

目標項目	基準値	目標値	担当課	H28数値	課題等
間伐実施延面積	346ha	370ha	農林水産課	50.66ha	

□市民意識調査

調査項目	基準値	目標値
間伐等適正な森林施策が推進されていると思う市民の割合	27.2%	50.0%

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名(予算書)	担当課
—	16131	農業振興経費	農林水産課
—	16142	水産振興事業	
間伐推進事業	16312	林業振興一般経費	
市有林整備事業	16313	市有林管理育成事業	
森林整備地域活動支援事業	16315	森林整備地域活動助成事業	
松林健全化推進事業	16316	松林健全化推進事業	
林道維持管理事業	16321	林道維持費	建設課

施策目標5 活力ある工業の育成

雇用を伴う設備投資への支援を推進するとともに、関係機関との連携による技術的支援や、北アルプス地域ものづくり産業活性化連絡協議会による企業間連携や人材育成事業など、新たな支援策を展開し既存企業の一層の育成を図ります。

また、産業立地戦略本部・戦略室が中心となり立地の動きを迅速に把握し、東洋紡績大町工場跡地を中心に、豊富な地下水や恵まれた自然環境といった、本市の特性を最大限に生かすことができる企業の誘致を積極的に推進します。

【産業立地戦略本部・戦略室を中心とした企業誘致の展開】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
戦略的な企業誘致の展開	<ul style="list-style-type: none"> ○企業誘致戦略の見直し ○全庁を挙げての企業誘致戦略の推進 	産業立地戦略室	平成 27 年 10 月に新たな企業誘致戦略を策定。全庁を挙げて企業誘致の推進を進めている。	B (H28:B)
地域の特性を生かした企業の誘致	<ul style="list-style-type: none"> ○東洋紡績大町工場跡地への誘致活動の推進 ○工場適地の掘り起こしによる新たな工場用地の確保と情報発信 ◆企業立地意向調査の実施による情報収集 ○豊富な地下水や恵まれた自然環境、農業や観光業と連携した事業展開など、地域特性を生かした企業の誘致 ◆地域産業活性化懇話会による企業誘致情報の共有化 ○工場等誘致振興条例に基づく支援 		東洋紡績地及びカスタムオーダーの誘致を推進。 当市の特性を活かし、「水」や「自然環境」を売りにして誘致活動を推進。 市外企業との延べ面談回数 495 回。	B (H28:B)

【既存企業の育成】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
既存企業の育成	<ul style="list-style-type: none"> ◆企業訪問等による情報収集と課題解決や新事業創出につながる情報発信 ◆人的体制・コーディネート機能の充実 ◆雇用を伴う設備投資等への支援 	商工労政課	大町市創業支援協議会の開催する創業セミナー、創業塾等の際、情報発信に取り組んだ。 制度資金融資による経営の安定化、支援をおこなった。	B (H28:B)

	○経営安定化への融資や利子補給等の支援 ○県工業技術総合センター等との連携による技術的支援 ◆北アルプス地域ものづくり産業活性化連絡協議会による企業間連携や人材育成事業等への支援	産業立地戦略室	市内企業訪問延べ回数 26 回。 工場等誘致振興条例に基づく固定資産税相当額の助成 3 件	B (H28:B)
--	---	---------	--	--------------

▼数値目標

目 標 項 目	基準値	目標値	担当課	H28 数値	課題等
製造品出荷額	895 億円	1,000 億円	産業立地戦略室	—	H27、28 の数値は未公表。
企業誘致件数（5年累計）	0 社	3 社	産業立地戦略室	1 社	東洋紡跡地について、用途変更を実施。さまざまな業種に応じた誘致活動を展開する。

□市民意識調査

調 査 項 目	基準値	目標値
既存企業の育成、企業誘致等産業の活性化施策に満足していると思う市民の割合	27.3%	50.0%

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
工業振興・企業誘致事業	1 7 1 2 2	工業振興・企業誘致事業	産業立地 戦略室
工場等誘致振興助成事業	1 7 1 2 3	工場等誘致振興助成事業	

施策目標6 にぎわいと個性あふれる商業の展開

景気の低迷や後継者不足などから空き店舗が増加するなど、商店街の活気やにぎわいを取り戻すことが課題となっています。近年では、市民参加による町屋や麻倉といった地域資源を生かしたまちづくりが進められているほか、空き店舗を活用した個性的な商店の出店も見られることから、新規創業や店舗改修資金融資の斡旋や空き店舗活用助成等の活用により、やる気と熱意ある事業者への支援をより一層推進し、にぎわいと個性あふれる商業を展開します。

【創造性の高い取り組みへの支援】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
個性ある店づくりへの支援	○新規創業や店舗改修等の資金融資の斡旋 ○空き店舗活用助成による事業者の自立支援	商工労政課	市制度資金を利用して新規開業などへの支援をおこなっている。また、空き店舗活用補助金の交付により個性ある店舗づくりの支援を行っている。	B (H28:B)
活力を生み出す人づくり	○やる気と熱意を持って自ら考え行動する事業者への支援		大町市創業支援協議会による、創業セミナー、創業塾等を開催し、創業希望者、創業者等への支援に努めた。	B (H28:B)
商店街活性化イベントへの支援	○市民が自主的に企画し、商業の活性化に顕著な効果が期待されるイベントへの支援		商店街単位で開催するイベントへの支援を行った。今後も継続した取り組みが必要である。イベント開催日以外での人通りが少ないといった課題はある。	B (H28:B)

【事業者の連携による商業活動の活性化】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
商業関係組織の育成	○商業組織の育成と一体化の構築 ○市街地多目的ホール等を活用した商店街との連携強化 ◆おもてなしの心の醸成と意識改革	商工労政課	商工会議所、商店街連合会と連携し、各種イベントを開催し、活性化に努めている。市街地イベントを通して、おもてなしの心の醸成が進むことが期待される。	B (H28:B)

【人材の育成】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
リーダー等の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○商店街を担う女性リーダーの育成 ◆商店街を担う後継者の育成 ◆児童生徒の街なか活動事業への協力 	商工労政課	店主の高齢化や後継者不足からリーダーの育成には、一定の期間が必要である。商工会議所への支援をつうじて、青年部等への支援を行うことにより、後継者育成や事業継承につなげる。	B (H28:B)

▼数値目標

目 標 項 目	基準値	目標値	担当課	H28 数値	課題等
空き店舗活用助成件数	10 件	12 件	商工労政課	2 件	個々の事情により空き店舗活用が制限され、活用不能な店舗が存在する。
商品販売額	429 億円	500 億円	商工労政課	363 億円	売り上げは減少傾向にある。

□市民意識調査

調 査 項 目	基準値	目標値
中心市街地の活性化に満足していると思う市民の割合	32.3%	55.0%

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
空き店舗活用事業	17117	中心市街地活性化事業	商工労政課

施策目標7 競争力のある中小企業の育成

近年の景気低迷により、中小企業は厳しい状況におかれています。競争力のある中小企業を育成するため、蓄積された技術や新技術導入による新製品開発などへの支援を行い、経営の安定化と高度化を促進するとともに、新たな産業の創出を支援します。

また、地域に根ざした地場産業や伝統産業などを育成するとともに、情報の収集と発信に努め、地域ブランド力を向上させながら需要の拡大と販路の開拓を支援します。

【既存企業の育成と新規創業支援】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
経営の安定化及び高度化の促進	○中小企業支援のための制度資金融資の斡旋、各種助成の実施	商工労政課	市制度資金融資の融資枠の拡充などにより経営の安定化を図るための支援を行っている。	B (H28:B)
関係団体及び企業間の連携	○商工会議所や地域内の企業連携による競争力の強化	商工労政課	商工会議所をはじめ、大町職業安定協会等との連携による新規就職者激励会、セミナー、企業説明会等の開催により企業間の連携や人材育成を図り競争力の強化に取り組んでいる。	B (H28:B)
		産業立地戦略室	北アルプス地域ものづくり連絡協議会により人材育成事業に取り組んでいる。	D (H28:B)
技術力の強化	○県工業技術総合センター等との連携による技術的支援	産業立地戦略室	ここ数年、県工業技術センターと連携した技術的支援等の活動を実施していない。	E (H28:E)
創業支援	○土地、建物等の情報提供 ◆コミュニティビジネスの創出につながる情報の提供	商工労政課	大町市創業支援協議会による、創業セミナー、創業塾等の開催により、創業希望者、創業者等への支援に努め、創業相談等も随時対応している。	B (H28:一)
建設産業の振興	○公共事業の発注等を通じ、地域の基盤整備を支える産業としての健全な発展の促進	商工労政課 関係課	公共事業が減少するなかで経営基盤の強化等を図ることが必要。(商工労政課)	B (H28:B)

【地場産業と伝統産業の振興】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
地場産業と伝統産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の個性ある産業の育成、振興 ○地場産品、伝統産品の販売力の強化と販路拡大 ○付加価値を高めた新商品開発 ○消費者ニーズの把握 ○後継者の確保、育成と伝統技術の継承 	商工労政課	地場産品については、各地で開催される物産展等でPRと販売促進に努めている。	B (H28:C)

【地域ブランド力の向上】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
特産品の開発促進と宣伝の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○観光業、農林水産業、商工業との連携による商品開発 ○消費者視点による商品の開発 ◆フードコーディネーターなど、専門家の視点を取り入れた商品開発 ◆黒部ダムカレーのグッズ開発及び販売の促進 ◆地域の認知度向上を意識した黒部ダムカレーに続く商品の開発 ◆マスコットキャラクターの普及と定着 	商工労政課	特産品開発コンテストを開催し、観光客等に、地域の魅力を十分に伝えることができる特産品や土産品の開発を促進。 黒部ダムカレーはイベント等を通じ、認知度の向上と販売促進に努めている。	B (H28:B)
マスコットキャラクターによる宣伝の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆マスコットキャラクターによる宣伝の推進 		各種イベントへの参加や SNS の活用等により、大町市の魅力の情報発信を行った。	A (H28:A)
組織強化	<ul style="list-style-type: none"> ○異業種間の連携 ◆黒部ダムカレー.com の組織強化 ◆姉妹都市連携を活用した事業者間での連携強化 ○ブランド力向上に多くの市民が参加できる環境の整備 		立川市商店街連合会との交流を行い、事業所間の連携強化につながるよう努めている。 おおまびょん応援事業所：おおまびょんを応援することによりブランド力向上の取組に参加いただいた。	B (H28:B)

【情報発信の充実強化】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
アンテナショップの活用	◆情報の受発信の推進 ◆都市での市内農業者、事業者によるアピール機会の創出	商工労政課	店舗の立地条件等から集客に課題があり、外部出店の回数を増やすことにより特産品の売上げ向上と情報発信に努めた。	C (H28:C)

▼数値目標

目 標 項 目	基準値	目標値	担当課	H28数値	課題等
県内での大町市の認知度（19市中）	17位	10位	商工労政課	12位	地域イメージの確立と市民や関係事業者とのイメージの共有や協働の取組が課題となっている。

□市民意識調査

調 査 項 目	基準値	目標値
地域ブランド力が向上していると思う市民の割合	8.8%	50.0%

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
創業支援事業	15114	創業支援事業	商工労政課
中小企業融資事業	17114	中小企業支援事業	
中小企業支援事業			
おおまびよん活用事業	17115	ブランド振興事業	
信濃大町ブランド向上事業			
アンテナショップ運営事業	171112	アンテナショップ運営事業	
信濃大町の水ブランド化事業	171113	地方創生推進ブランド振興事業	
特産品開発支援・販売促進事業			
—	17122	工業振興・企業誘致事業	産業立地戦略室

